

## 小 浜 市長選

# 自民逆風に逆らえず松崎氏連続当選ならず

## 新人杉本氏番狂わせの初当選！



初当選を果たした杉本和範氏

7月21日投開票の小浜市長選は、無所属新人で前市議の杉本和範氏が8291票を獲得し、一騎打ちを制した。5

選を目指した現職の松崎晃治氏に990票の差を付け、16年ぶりの新市長が誕生。44歳、県内9市で最年少の首長となった。20年ぶりの選挙戦となった今回の投票率は68・02%で、前回は9・44%下回った。

杉本氏は公約に政治・行政の新陳代謝を行いみんなが潤うまちづくりを掲げ、ふるさと納税を4年で10億円に、食文化や地域産業などをブランド化して外需・人材を呼び込む。徹底的な若者流出、人口減少対策に取り組むとし、市

民目線での行政をと訴え、支持を広げていった。

兵庫県宝塚市に生まれた杉本氏は、中高一貫校の三田学園を卒業。愛知県の甲南大学理学部卒業後は、名古屋市で化粧品会社、食品関連会社に勤務し、13年前に父親の実家である小浜市に転居。古民家をリノベーションした「グリーンカフェ緑茶房」を営む。

名古屋時代からまちづくり活動に参画し、小浜に転居後もフリーマーケット「おばま浜参道楽市」を主催し反響を呼ぶなど地元商業振興に力を入れる中で、市民の声を反映するには議員になるしかないとし、市議選に出馬。平成31年